個人投資家・機関投資家
合同IRセミナー（決算説明会）

2027年3月期 第2四半期（中間期）

ナイス株式会社

（証券コード：8089）

この説明資料には将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
将来予測にはリスクや不確定な要因などが含まれており、実際の成果や業績は予想と異なる可能性があります。

目次

１．会社・事業のご紹介
２．2027年3月期 第2四半期（中間期）連結業績
３．直近の主な取り組み
４．株主還元

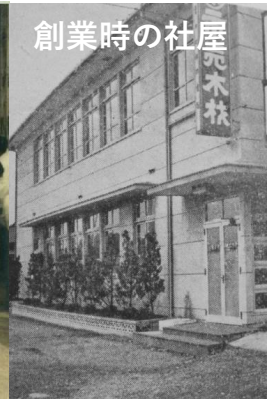
1．会社・事業のご紹介

ナイス株式会社　概要

本社所在地	横浜市鶴見区鶴見中央四丁目33番1号
設　　立	1950年（昭和25年）6月23日
資 本 金	244億89百万円（2026年3月31日現在）
決 算 期	3月31日
上　　場	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：8089）
連結従業員数	2,827名（2026年3月31日現在）
代表取締役社長	津戸　裕徳
公式HP	https://www.nice.co.jp/









ナイスグループの事業

- 建築資材事業と住宅事業の２つの事業を両輪とするビジネスモデル
- 木材流通というルーツを生かしながら、住生活産業全般にわたる商品・サービスを展開

2026年3月期売上高

建築資材事業 1,935億円

木材
532億円



建材・住宅設備機器
1,400億円



住宅事業 549億円

マンション
210億円



一戸建住宅
130億円

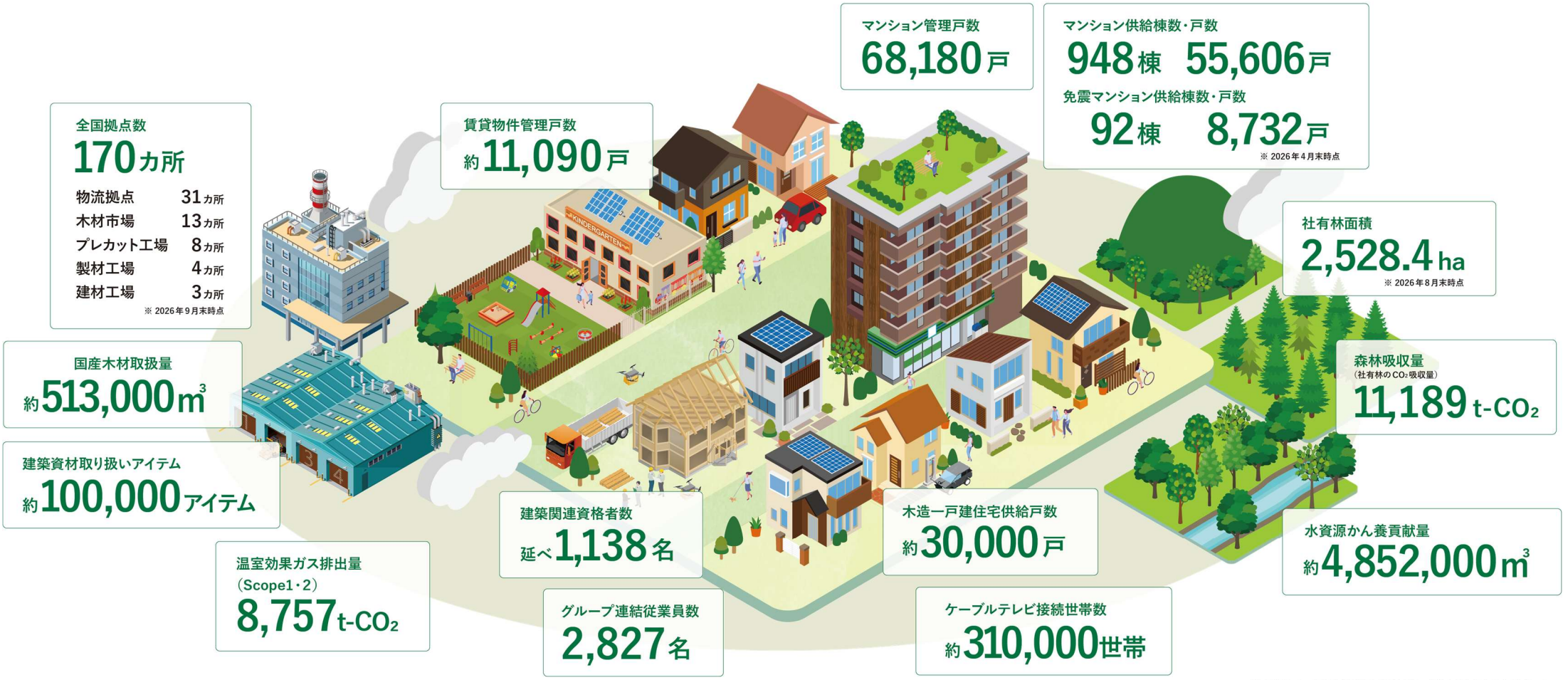


管理その他
208億円



その他事業 106億円

ひとめでわかるナイス



全国拠点数
170カ所

物流拠点	31カ所
木材市場	13カ所
プレカット工場	8カ所
製材工場	4カ所
建材工場	3カ所

※ 2026年9月末時点

国産木材取扱量
約513,000㎥

建築資材取り扱いアイテム
約100,000アイテム

温室効果ガス排出量
(Scope1・2)
8,757t-CO_2

賃貸物件管理戸数
約11,090戸

建築関連資格者数
延べ1,138名

グループ連結従業員数
2,827名

マンション管理戸数
68,180戸

木造一戸建住宅供給戸数
約30,000戸

ケーブルテレビ接続世帯数
約310,000世帯

マンション供給棟数・戸数
948棟　55,606戸

免震マンション供給棟数・戸数
92棟　8,732戸

※ 2026年4月末時点

社有林面積
2,528.4ha

※ 2026年8月末時点

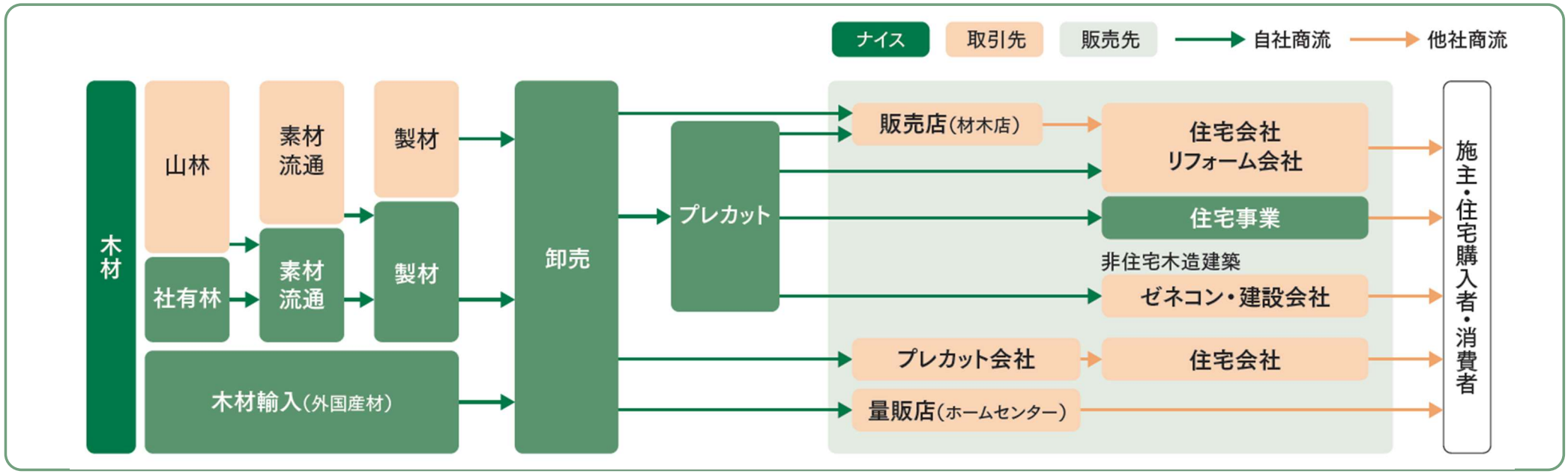
森林吸収量
(社有林のCO_2吸収量)
11,189t-CO_2

水資源かん養貢献量
約4,852,000㎥

※ 掲載している各数値は特に記載がない限り2026年3月末時点のもの

【建築資材事業】木材流通（ビジネスモデル）

- 国内屈指の国産木材取扱量　国内の木材仕入先600社超は業界随一
- 生産から流通まで一貫したサプライチェーンをグループ内で構築



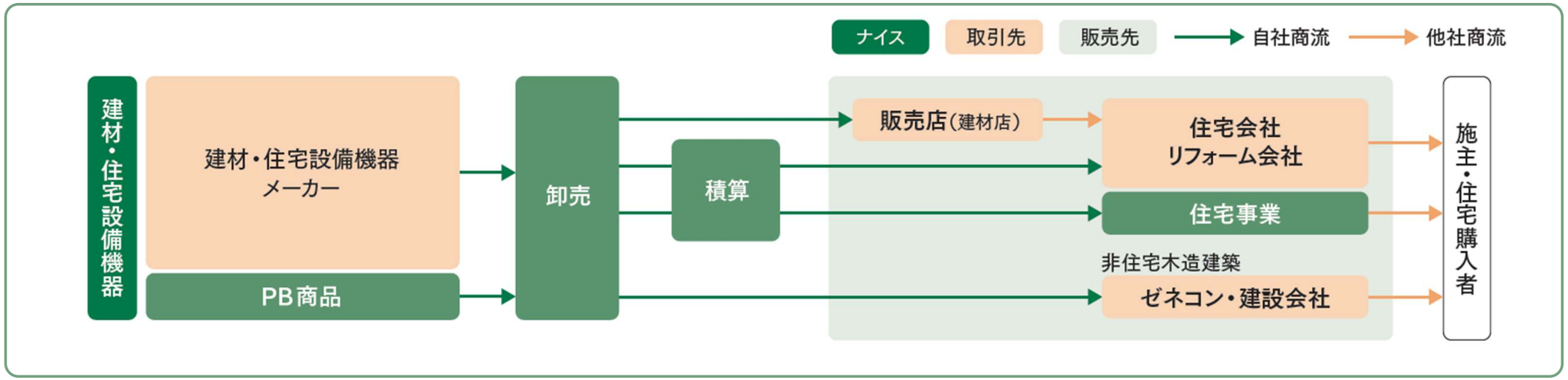






【建築資材事業】建材・住宅設備機器流通（ビジネスモデル）

- 全国の建材・住宅設備機器メーカー約4,000社との取引実績　約10万点に及ぶ建築資材の仕入・販売
- 30年以上連続パナソニック製品取扱高No.1の代理店実績



Panasonic　TOTO　DAIKEN　YKK ap　LIXIL　EIDAI

WOODONE　YOSHINO 吉野石膏　旭ファイバーグラス　Kmew　ニチハ株式会社　クリナップ

SEIHOKU セイホク株式会社　kaneka　NANKAI PLYWOOD　FUKUVI　NORITZ　WOODTEC 朝日ウッドテック株式会社

DUPONT デュポン・スタイロ株式会社　DAIKIN　Takara standard　Housetec Living with ideas　Rinnai　NISSHIN 日新グループ

Panasonic 社製品

30年以上

No.1代理店



【建築資材事業】国内有数の建築資材流通ネットワーク

- 創業以来培ってきたネットワークを活用し、国内外から木材製品を安定的に調達
- 全国の流通プラットフォームをストックヤードとして活用　多種多様な建築資材を常時ストック

木材仕入先
約600社



建築資材拠点
115カ所



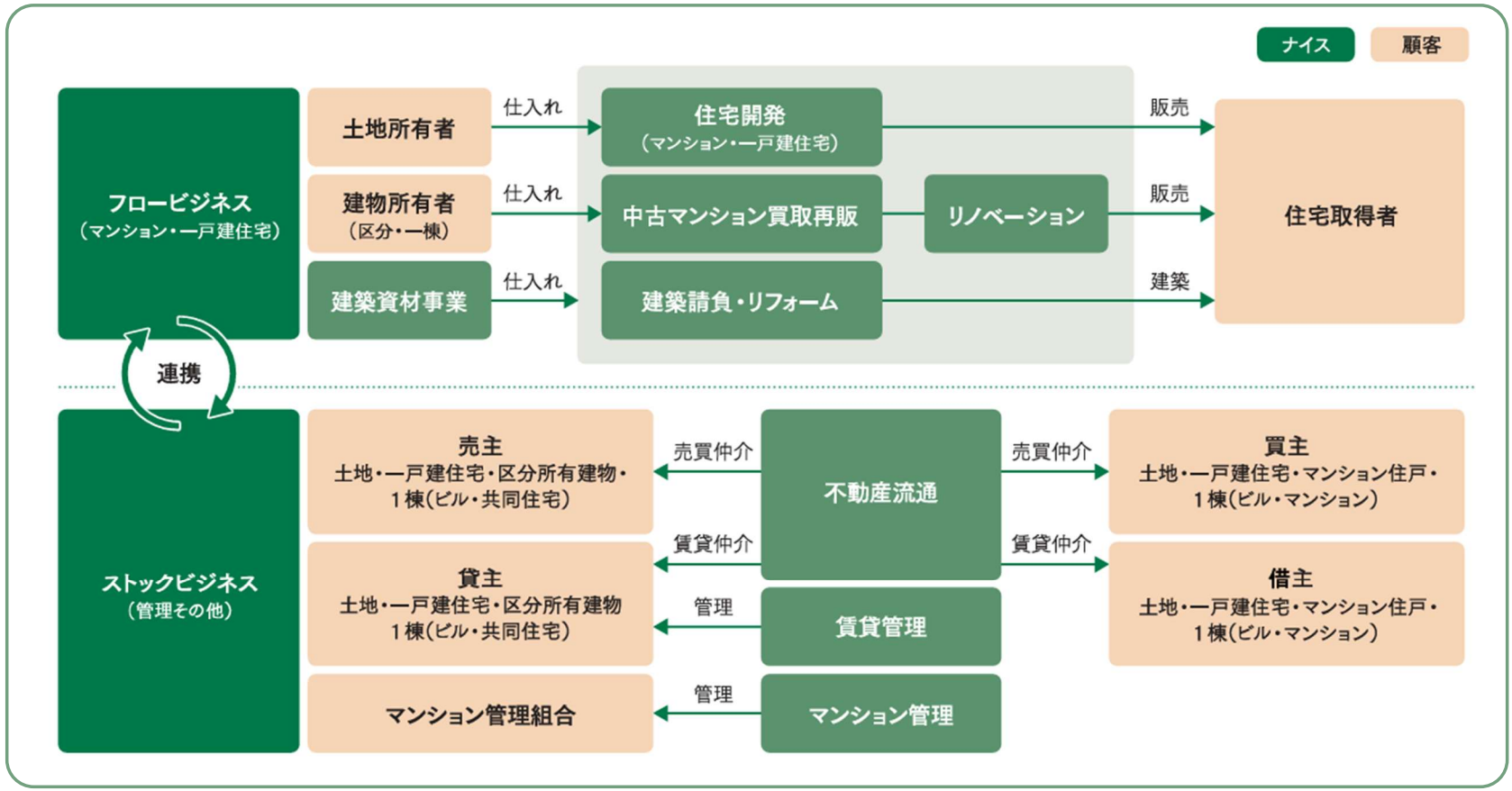
物流拠点
31カ所



2026年9月30日時点

【住宅事業】ビジネスモデル

- 首都圏、仙台、宇都宮、新潟、浜松、豊田をはじめとしたエリアで累計85,000戸超の住宅を供給
- お客様のライフサイクルのあらゆる段階に対してワンストップで対応できる体制を構築









【住宅事業】分譲マンションの供給

▌阪神・淡路大震災が発生した1995年より「地震に強い家づくり」の取り組みをスタート
▌マンション共用部分の内装に木材を使用することで、より快適な暮らしを実現



マンション供給実績　約55,600戸
（2026年3月末時点）





※神奈川県：MRC調査補足データ（1996年1月～2025年12月31日）より。栃木県：ヴィープランニング調べ（2026年3月31日時点）。宮城県：DGコミュニケーションズ仙台オフィス調べ（2026年3月31日時点）。
一都三県：MRC調査補足データ（1996年1月～2025年12月31日）より。







【住宅事業】一戸建住宅の供給

- 建築基準法の定める耐震性能の2倍を超える地震に強い建物「2倍超耐震」
- ZEH水準以上の断熱等級5または6が標準規格　構造躯体の国産材比率100％を標準化





- 建築基準法の耐震強度の2倍を超える家
- パワービルド工法による許容応力度計算と立体解析の構造設計



- 光熱費削減・自家消費の促進
- 創エネでCO2削減
- 断熱強化・屋根の遮熱効果
- 高気密・高断熱による高い遮音性



- 躯体の国産材化
- 内・外装の木質化で彩りある暮らし
- 木の持つ健康効果

【住宅事業】不動産流通／賃貸管理／マンション管理

- 不動産売買、賃貸、リフォームなど暮らしに関わるワンストップソリューションの実現
- 不動産オーナーの賃貸物件管理や、マンションやビルの管理業務をトータルでご提供

不動産流通

ONE STOP SOLUTION



住まいのすべてをここで。

ナイス住まいの情報館

賃貸管理

賃貸管理戸数 約 **11,000**戸

プロパティマネジメント 運用不動産の管理業務	リーシングマネジメント 利益創出のための賃貸業務
アセットマネジメント 最適な資産形成のご提案	コンストラクションマネジメント 付加価値を生む建物再生のご提案

ナイスアセット株式会社

株式会社 新井商事ビル管理

マンション総合管理

管理戸数 約 **68,000**戸


管理組合運営


理事会・総会支援


会計・出納


管理員


大規模修繕工事


長期修繕計画


メンテナンス



警備・緊急対応


建物・設備点検


ビルメンテナンス


清掃

ナイス コミュニティー株式会社

２．2027年3月期 第2四半期（中間期）連結業績

連結業績 概要

- 前年同期比増収増益
- 中間期の売上高が過去最高を更新 ※1
- 負ののれん発生益（特別利益）の計上等により、親会社株主に帰属する中間純利益が増加

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減額	増減率（%）
売上高	119,610	129,169	+9,559	+8.0
営業利益	1,244	1,762	+518	+41.6
経常利益	1,065	1,571	+506	+47.6
親会社株主に帰属する中間純利益	664	1,674	+1,010	+151.9
1株当たり中間純利益	55円94銭	143円45銭	+87円51銭	+156.4
EBITDA ※2	2,545	3,077	+531	+20.9

※1 前期以前のすべての中間期において、収益認識に関する会計基準等を適用したと仮定して算定した売上高は過去最高となりました。
※2 EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

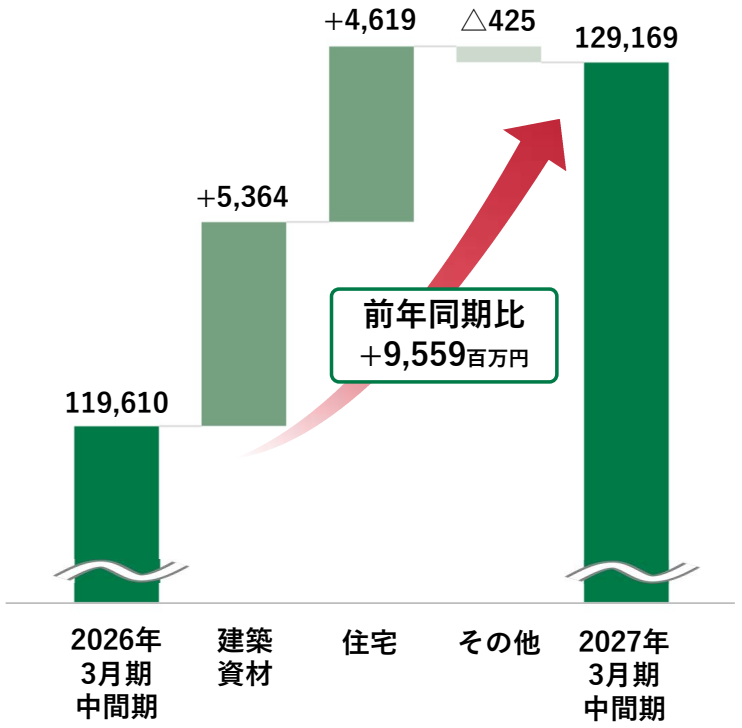
売上高

- 建築資材事業は、住宅会社等との取引拡充、徳島第2工場本格稼働や新規連結、物価上昇に伴う販売価格適正化等により増収
- 住宅事業は、新築分譲マンションの当期竣工引渡で売上計上戸数が増加したことにより増収

（単位：百万円）

		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減額	増減率（%）
建築資材	木材	26,058	29,174	+3,115	+12.0
	建材・住宅設備機器	67,609	69,867	+2,257	+3.3
	木材市場	127	118	△9	△7.4
	計	**93,795**	**99,160**	**+5,364**	**+5.7**
住宅	マンション	5,519	10,256	+4,737	+85.8
	一戸建住宅	4,056	4,036	△19	△0.5
	管理その他	10,525	10,427	△97	△0.9
	計	**20,101**	**24,721**	**+4,619**	**+23.0**
その他		**5,713**	**5,288**	**△425**	**△7.4**
合計		**119,610**	**129,169**	**+9,559**	**+8.0**

（単位：百万円）



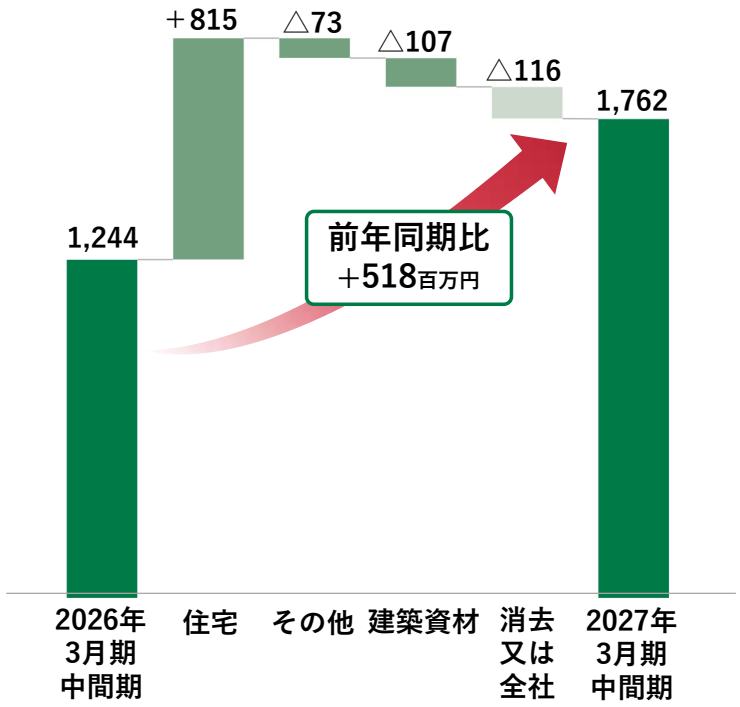
セグメント別営業利益

- 建築資材事業は、第1四半期では一過性費用の増加などから前年同期比256百万円の減益となったが、第2四半期の7～9月で前年同期比149百万円の増益となり、中間期（4～9月）の減益幅が縮小
- 住宅事業は、新築分譲マンションの当期竣工引渡により売上計上戸数が増加

（単位：百万円）

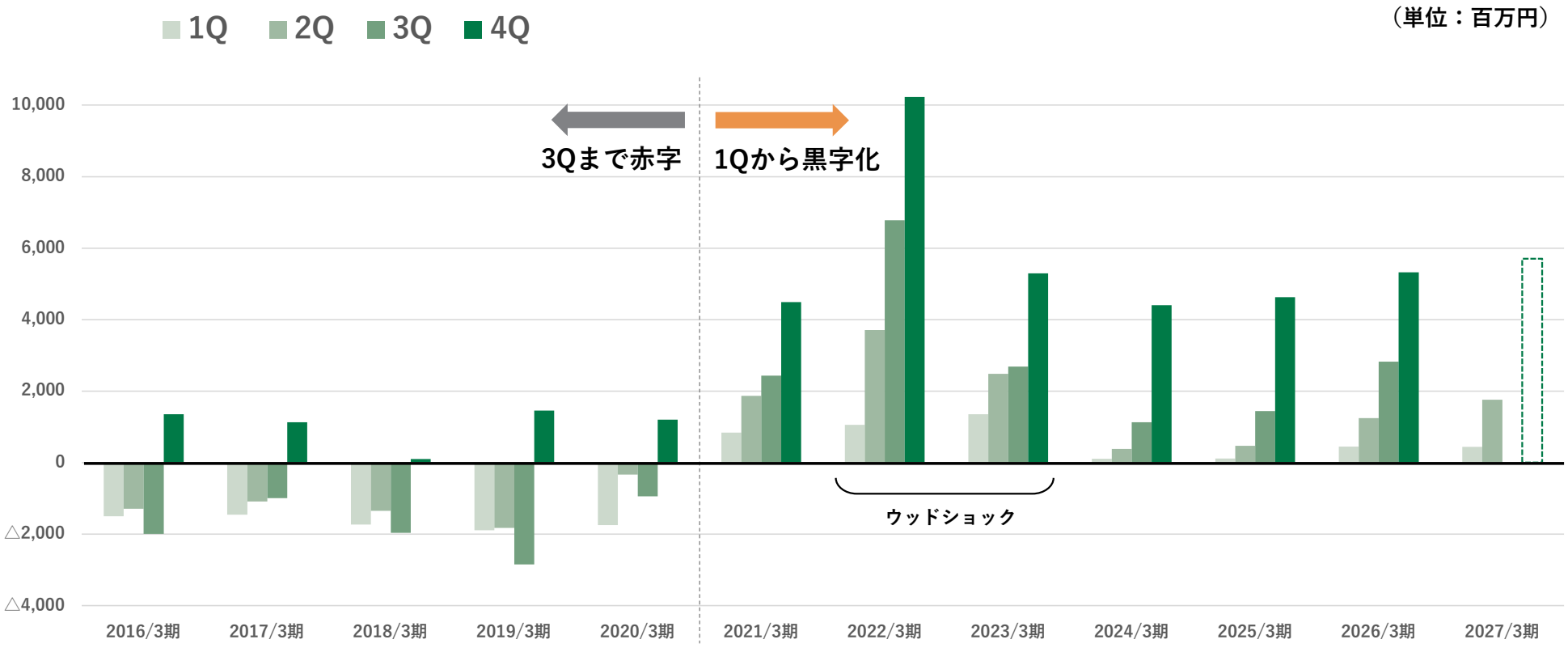
	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減額	増減率（%）
建築資材	910	803	△107	△11.8
住宅	637	1,453	+815	+127.9
その他	640	566	△73	△11.5
計	**2,188**	**2,823**	**+634**	**+29.0**
消去又は全社	△944	△1,060	△116	—
合計	**1,244**	**1,762**	**+518**	**+41.6**

（単位：百万円）



営業利益の推移

▌第3四半期までの累積赤字を第4四半期で取り戻す期末偏重型の収益構造を改善し、通期利益の平準化を推進
▌2021年3月期を転換点に第1四半期からの黒字化が定着し、安定的な利益計上を実現



住宅セグメント 契約戸数・売上計上戸数

- 新築分譲マンションは当期竣工引渡で売上計上戸数が増加、新規契約獲得に注力
- 一戸建住宅は前期比同水準で堅調に推移

2026年3月期 中間期

（単位：戸）

	❶ 契約済売上未計上戸数 前期末	❷ 契約戸数	❸ 売上計上戸数	❶+❷−❸ 契約済売上未計上戸数 中間期末
新築	140	86	20	206
中古買取再販	11	94	94	11
マンション 計	**151**	**180**	**114**	**217**
一戸建住宅 計	**122**	**126**	**79**	**169**
合計	**273**	**306**	**193**	**386**

2027年3月期 中間期

（単位：戸）

	❹ 契約済売上未計上戸数 前期末	❺ 契約戸数	❻ 売上計上戸数	❹+❺−❻ 契約済売上未計上戸数 中間期末
新築	106	46	109	43
中古買取再販	11	83	71	23
マンション 計	**117**	**129**	**180**	**66**
一戸建住宅 計	**124**	**129**	**75**	**178**
合計	**241**	**258**	**255**	**244**

連結貸借対照表 概要

- ㈱山大の新規連結により資産、負債が増加
- 商品・販売用不動産の増加に伴い借入金が増加

（単位：百万円）

		2026年3月期 期末	2027年3月期 中間期末	増減額
資産	現金及び預金	21,422	21,240	△181
	売上債権・契約資産	41,873	43,144	＋1,271
	商品	7,505	8,920	+1,415
	販売用不動産・未成工事支出金	31,128	40,105	＋8,977
	有形固定資産	45,868	48,080	＋2,211
	資産合計	**173,471**	**187,867**	**＋14,396**
負債・純資産	仕入債務	41,872	42,820	+948
	借入金	43,990	53,916	＋9,926
	負債合計	**108,311**	**119,668**	**＋11,356**
	純資産合計	**65,159**	**68,199**	**＋3,039**
	負債・純資産合計	**173,471**	**187,867**	**＋14,396**
	自己資本比率	**34.3%**	**33.2%**	**△1.1pt**

販売用不動産の内訳

▌新築マンションの建築工事が順調に進捗し、仕掛販売用不動産が増加
▌中古買取再販マンションの仕入れが進み、下期引渡在庫を確保

（単位：百万円）

		2026年3月期 期末	2027年3月期 中間期末	増減額
住宅事業	完成販売用不動産	9,950	13,085	＋3,135
	仕掛販売用不動産	12,220	17,452	＋5,231
	開発用不動産	8,631	9,142	＋510
	合計	**30,802**	**39,680**	**＋8,878**
うち中古買取再販	完成販売用不動産	1,623	3,950	＋2,326
	仕掛販売用不動産	4,644	4,700	＋56
	合計	**6,267**	**8,651**	**＋2,383**

連結キャッシュ・フロー計算書 概要

- 税金等調整前中間純利益の増加 及び 仕入債務増減額の変動に伴い、営業キャッシュ・フローの減少幅が縮小
- 有形固定資産取得（設備投資）による支出の減少に伴い、投資キャッシュ・フローの減少幅が縮小
- 借入金の増加により、財務キャッシュ・フローが増加

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,023	△8,109	＋1,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,459	△5	＋2,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,750	7,181	＋430
現金及び現金同等物の増減額	△5,737	△936	＋4,800
現金及び現金同等物の期末残高	23,341	21,876	△1,464

2027年3月期 連結業績予想

▌現時点において2026年5月14日に公表した予想数値からの変更なし

（単位：百万円）

	2026年3月期 通期（実績）	2027年3月期 通期（予想）	2027年3月期 中間期（実績）	進捗率（%）
売上高	**259,154**	**270,000**	**129,169**	**47.8**
建築資材セグメント	193,532	200,000	99,160	49.6
住宅セグメント	54,931	60,000	24,721	41.2
その他	10,690	10,000	5,288	52.9
営業利益	**5,322**	**5,700**	**1,762**	**30.9**
経常利益	**5,162**	**5,200**	**1,571**	**30.2**
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	**2,586**	**3,200**	**1,674**	**52.3**
EBITDA ※	**7,956**	**8,300**	**3,077**	**37.1**

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

3．直近の主な取り組み

国産木材の供給　国産木材による構造用集成材の供給をスタート

- 構造強度とコストパフォーマンスを両立したスギとヒノキのハイブリッド集成材を開発
- 横架材の国産材比率向上に向けて国産構造用集成材を投入

ウッドファースト㈱



2025年4月 第2工場稼働

スギ材

㈱かつら木材商店



2025年2月 株式取得

ヒノキ材

大倉工業㈱

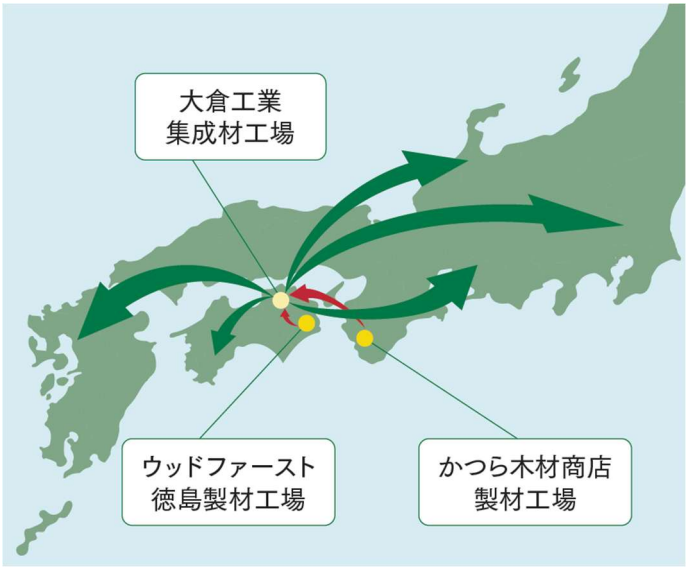


国産構造用集成材の製造

2026年4月 高瀬工場稼働

集成材

西日本エリアを中心に全国へ供給



国産木材の供給　東日本における供給体制を強化

- 東北エリアにおいてトップクラスの原木調達力と製材・加工能力を有する㈱山大をグループ会社化
- ㈱山大が誇る国産木材の生産能力とナイスの販売網を融合し、供給体制をさらに強化



宮城の伊達な杉

宮城県産スギを厳選・加工した独自の上質な地域材ブランド







国産木材の供給　木と暮らしの博覧会®を開催

- 国産木材・非住宅木造建築・エネルギー関連などをテーマとした取り組みや技術を展示
- 約150社の住設建材メーカーが集結し、未来の豊かな暮らしに配慮した最新設備を紹介



ご来場者数 **8,185** 名





国産木材の供給　木造ユニット・ハウス「MOK UNIT(モクユニット)」

- 国産木材100%で高品質と環境保全を実現
- 住宅・リゾート・店舗・防災拠点など幅広い用途に対応可能　平置連結も可能



2027 年に開催される「GREEN×EXPO 2027」にて
休憩所として利用される「MOK UNIT」



イメージ

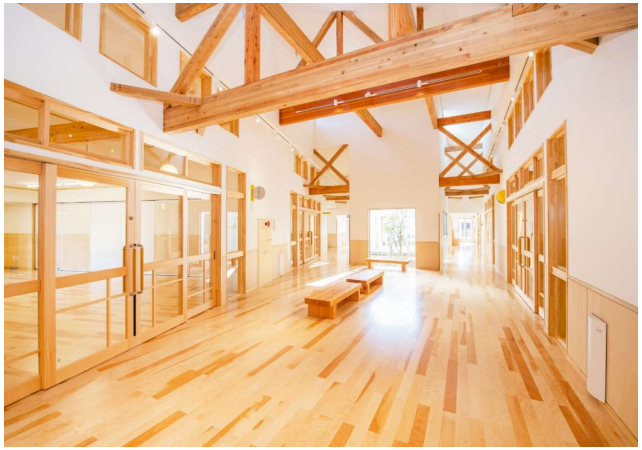
非住宅木造建築　㈱山大が持つ設計・特殊加工・施工機能との連携

- CAD図面作成から現場管理、木材加工、職人による施工をすべて一貫対応
- 特殊加工に対応可能なドイツ製プレカット加工機「フンデガーＫ2-i」を保有

［施工事例］

学校法人 たちばな学園　みやの森こども園
設　計　：(株)ジャクエツ
施　工　：元請 仙建工業(株)
　　下請 (株)山大
建築面積：2,868.81㎡

・2023年度グッドデザイン賞受賞
・ウッドデザイン賞2023年度受賞
・令和4年度木材利用優良施設等コンクール優秀賞受賞





木工用大型全自動CNCプレカット加工機「フンデガーＫ2-i」

・大断面・超長尺材の加工
・多種多様な構法・木造技術への対応
・複雑・立体的な特殊加工



非住宅木造建築　「2026年度グッドデザイン賞」を受賞

- 「タリーズコーヒー ロースター相模大野中央公園店」が「2026年度グッドデザイン賞」を受賞
- 外装材には、深い凸凹を設けて立体感を実現した「凸凹Gywood®」を採用







非住宅木造建築　木造・RC造ハイブリッド免震マンション着工

- 1階～5階を鉄筋コンクリート造、6階～9階部分（4層）を木造とするハイブリッド構造
- 全階鉄筋コンクリート造（RC造）の場合と比べて約25％の軽量化を実現



RC造と比べて約25％の軽量化を実現



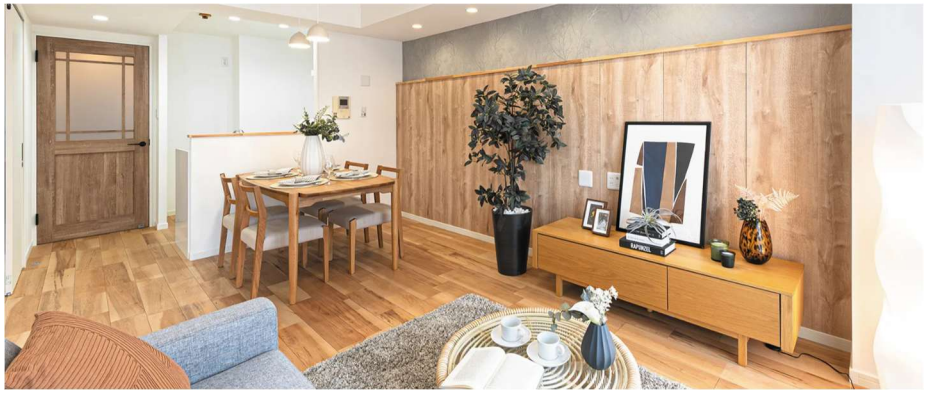
中古マンション買取再販

木質化リノベーションブランド「RIZ WOOD®」

- 日本の森林保全や国産材利活用を推進すべく、木質化リノベーションブランド「RIZ WOOD®」を展開
- 第43回 住まいのリフォームコンクールにて「ナレッジ賞」を受賞

RIZWOOD
人生を木とともに豊かに





「ナレッジ賞」を受賞

- 第43回 住まいのリフォームコンクールにて「ナレッジ賞」を受賞
- 洋室を仕切る檜の引戸をリビングの壁面に移動させることで、デザインパネルとしての機能を兼ね備えた2Way仕様を考案









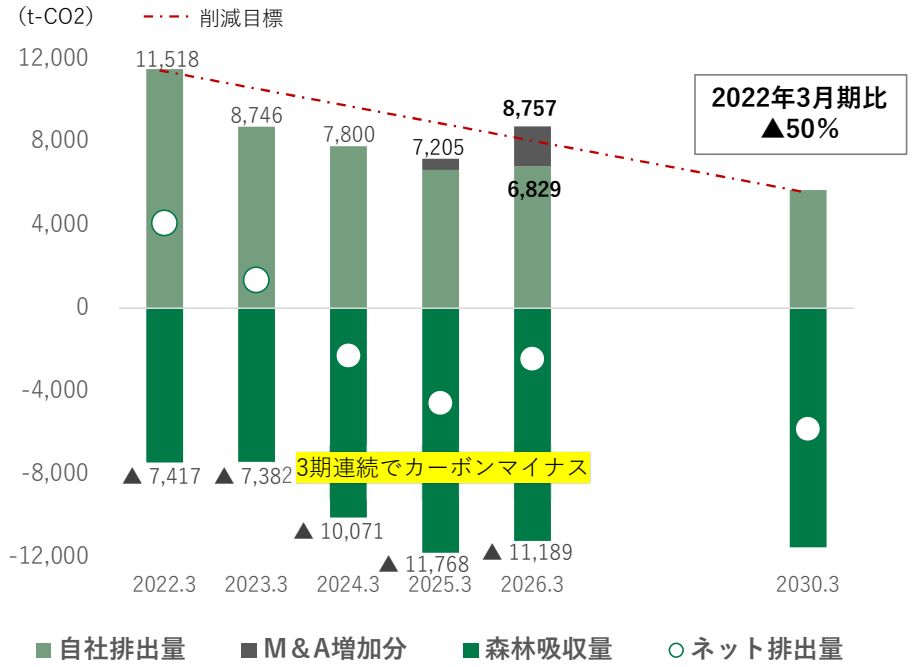


環境経営　3期連続でカーボンマイナスを達成

▌2024年3月期以来、3期連続で「カーボンマイナス」を達成
▌2030年3月期に自社排出量50%削減（2022年3月期比）を推進し、取引先のScope３削減にも貢献

■自社排出量（Scope1・２）削減のロードマップ

- Ｍ＆Aにより前期比で排出量増加も、既存事業の削減は着実に進展
- 2030年3月期自社排出量50%削減（2022年3月期比）に向けて脱炭素経営をさらに加速



排出量削減　**建材工場の使用電力の100%を実質再エネ化**

- 製材工場やプレカット工場などの主要な製造拠点の実質再エネ化を積極的に推進
- 2026年11月末に、徳島県で建材の製造を行う㈱アルボレックスの工場を実質再エネ化
- 建築資材の流通プラットフォームの脱炭素化により、取引先のScope3削減にも貢献



吸収量増加　**「ナイス日光の森」（栃木県鹿沼市）を取得**

- 2026年3月期の社有林の森林吸収量（CO2吸収量）は11,189t-CO2と、カーボンマイナス達成に寄与
- 2026年8月には、栃木県鹿沼市にて100ヘクタールの「ナイス日光の森」を取得
- 原木の生産を通じた経済林としての活用も推進



「日経・東証ＩＲフェア」に初出展

- 当社ブースにおいて、当社の事業や今後の成長戦略などをテーマとしたセミナーを2日間で計39回実施
- セミナーには延べ803名の方にご参加いただき、多くの貴重なご意見やご関心をいただく







統合報告書「Nice Group Report 2026」を発行

▌ブランドメッセージ「木を知り、暮らしを支える。」を軸とした企業活動をご紹介
▌長期的な企業価値向上と持続可能な社会の実現に向けた取り組みのご紹介



■ 統合報告書の概要

名　　称：Nice Group Report 2026

発行時期：2026年9月

対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日

（一部2026年4月以降の情報を含む）

■ 主な掲載内容

・**トップメッセージ**
ブランドメッセージに込めた想いと「中期経営計画 Road to 2030」の推進

・**特集**
成長を牽引する7つの「成長ドライバー」における具体的取り組み

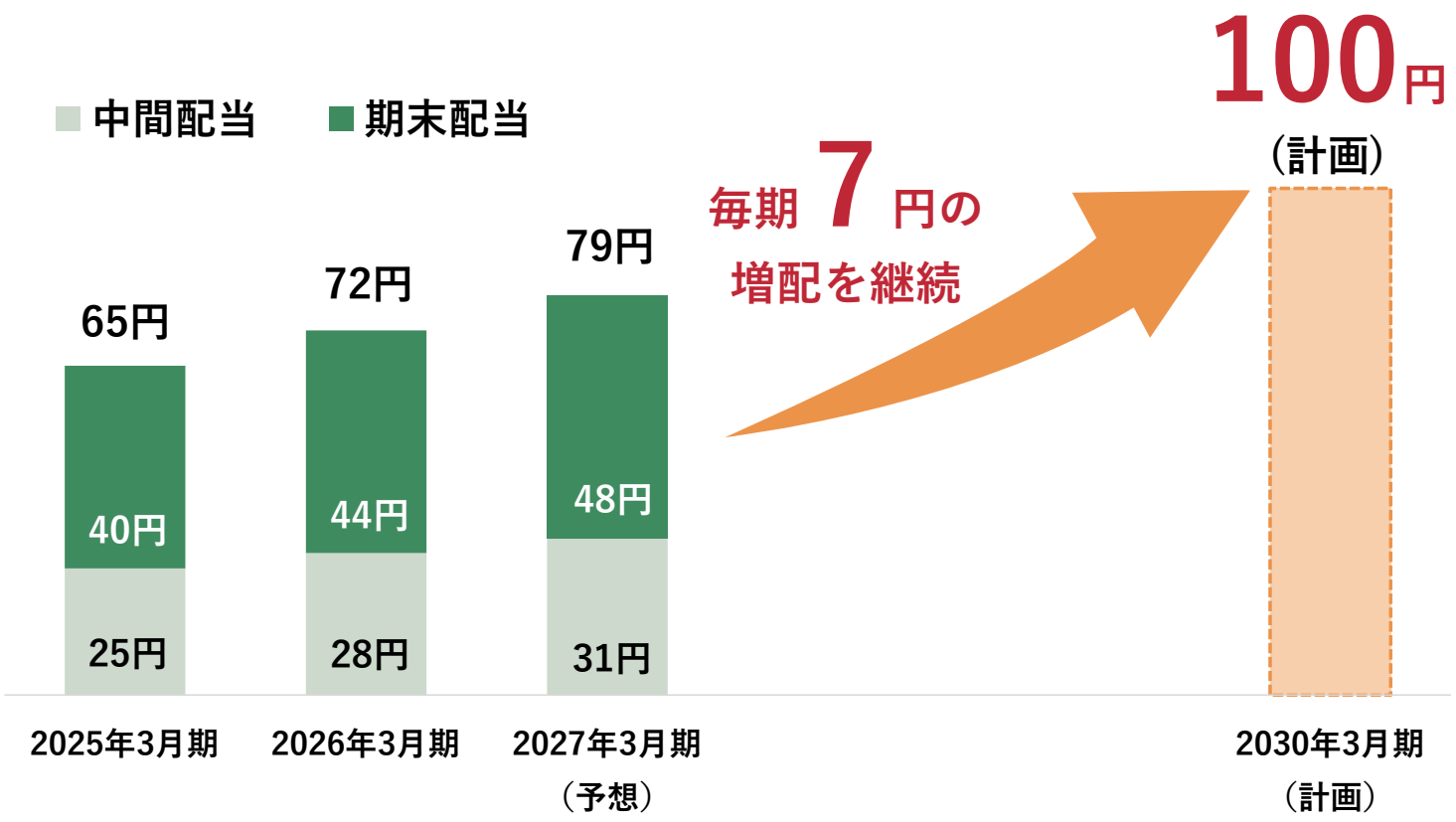
・**財務・資本戦略**
資本効率の向上に向けた基本方針と株主還元策

・**サステナビリティ**
マテリアリティ（重要課題）の進捗状況

4．株主還元

累進配当

- １株当たり配当金は維持又は増配することを基本とする累進配当を導入
- 「中期経営計画 Road to 2030」の期間中は毎期7円の増配を継続する計画



株主優待

- 株主優待を年2回実施　緑の募金への寄付金付き「おもいやり」QUOカードを贈呈
- 継続保有期間3年以上で保有株式数各区分の金額が倍増

保有株式数	継続保有期間 3年未満※	継続保有期間 3年以上※
100株以上 300株未満	QUOカード　500円	QUOカード　1,000円
300株以上 500株未満	QUOカード　1,000円	QUOカード　2,000円
500株以上	QUOカード　1,500円	QUOカード　3,000円

年 2 回贈呈



イメージ画像
画像と実際の商品デザインは異なる場合があります。

※「継続保有期間」は、基準日（毎年３月末日及び９月末日）において、同一の株主番号で各区分の最小株式数（100株、300株及び500株）を下回ることなく株主名簿に継続して記載された期間とします。

企業CM

現役社員による企業CMを制作

- 企業ブランディングの一環として現役社員5名が出演する新企業CMを制作
- 木の素材としての価値を、暮らしの価値へと変換して提供する様子を、「き」という音を持つ5つのキーワードで表現

5つの「き」	木	基	機	気	軌
提供価値	建築資材の供給力	レジリエンスな住まいの提供	木材活用の提案力	暮らしへの付加価値の提供	人生に寄り添うソリューション
	1950年に木材市場として創業。国産木材をはじめあらゆる建築資材を全国各地に届けます。	住まいは命を守るもの。私たちは地震に強い家づくりでこの国の暮らしを支えます。	木を知る私たちだからこそできること。木の可能性を拡げる様々な提案を行います。	美しさと使いやすさを追求していく。木のぬくもりを感じる空間を提供します。	住まいのすべてをここで。人生のあらゆる場面でお客様に寄り添います。
メッセージ	きちんと、木を届ける。	安心は、基盤から。	暮らしの、機能へ活かす。	空間に、気持ちよさを。	人生の、軌跡に寄り添う。
体現する社員像					


木を知り、
暮らしを
支える。

2027年3月期 連結業績予想

▌現時点において2026年5月14日に公表した予想数値からの変更なし

（単位：百万円）

	2026年3月期 通期（実績）	2027年3月期 通期（予想）	2027年3月期 中間期（実績）	進捗率（%）
売上高	**259,154**	**270,000**	**129,169**	**47.8**
建築資材セグメント	193,532	200,000	99,160	49.6
住宅セグメント	54,931	60,000	24,721	41.2
その他	10,690	10,000	5,288	52.9
営業利益	**5,322**	**5,700**	**1,762**	**30.9**
経常利益	**5,162**	**5,200**	**1,571**	**30.2**
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	**2,586**	**3,200**	**1,674**	**52.3**
EBITDA ※	**7,956**	**8,300**	**3,077**	**37.1**

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

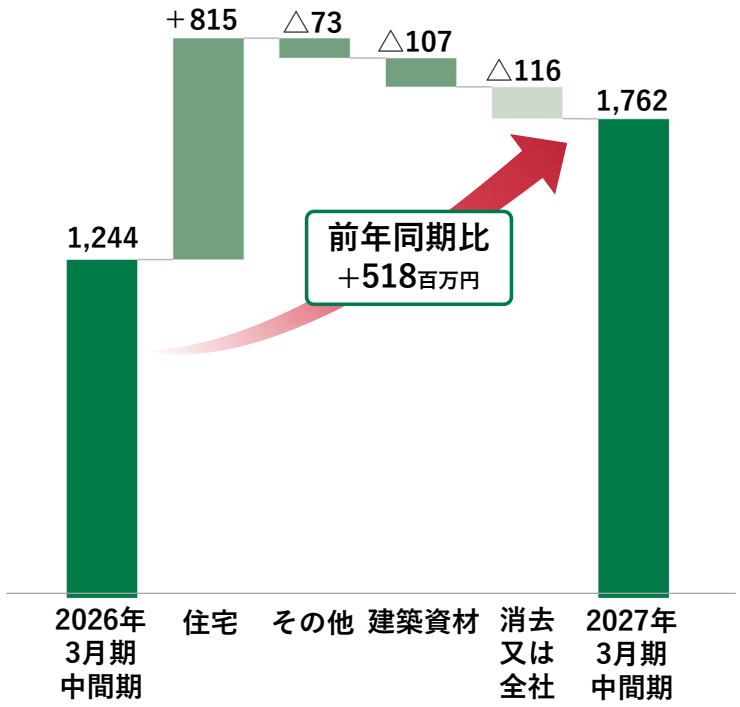
セグメント別営業利益

- 建築資材事業は、第1四半期では一過性費用の増加などから前年同期比256百万円の減益となったが、第2四半期の7～9月で前年同期比149百万円の増益となり、中間期（4～9月）の減益幅が縮小
- 住宅事業は、新築分譲マンションの当期竣工引渡により売上計上戸数が増加

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	増減額	増減率（%）
建築資材	910	803	△107	△11.8
住宅	637	1,453	+815	+127.9
その他	640	566	△73	△11.5
計	**2,188**	**2,823**	**+634**	**+29.0**
消去又は全社	△944	△1,060	△116	―
合計	**1,244**	**1,762**	**+518**	**+41.6**

（単位：百万円）



連結貸借対照表 概要

- ㈱山大の新規連結により資産、負債が増加
- 商品・販売用不動産の増加に伴い借入金が増加

（単位：百万円）

		2026年3月期 期末	2027年3月期 中間期末	増減額
資産	現金及び預金	21,422	21,240	△181
	売上債権・契約資産	41,873	43,144	＋1,271
	商品	7,505	8,920	+1,415
	販売用不動産・未成工事支出金	31,128	40,105	＋8,977
	有形固定資産	45,868	48,080	＋2,211
	資産合計	**173,471**	**187,867**	**＋14,396**
負債・純資産	仕入債務	41,872	42,820	+948
	借入金	43,990	53,916	＋9,926
	負債合計	**108,311**	**119,668**	**＋11,356**
	純資産合計	**65,159**	**68,199**	**＋3,039**
	負債・純資産合計	**173,471**	**187,867**	**＋14,396**
	自己資本比率	**34.3%**	**33.2%**	**△1.1pt**

７つの成長ドライバー

▌７つの領域を成長ドライバーに定め、経営資源を重点的に配分

成長ドライバー	国産木材の供給	中古マンション買取再販	非住宅木造建築	エネルギー関連商品の供給	マンション総合管理	賃貸管理	物流
							
主な戦略	• 国産木材にシフト • 国産木材サプライチェーン強化 • 即納体制 • 国産構造用集成材の供給	• 「RIZ WOOD®」ブランド育成 • 脱価格競争の独自ポジション確立 • 豊富な顧客接点を活かした仕入れ • 事業回転率向上 • 建築資材事業との連携 • 施工能力強化	• 東日本の取り組み強化 • ウッドALC普及促進 • 高付加価値な木質素材開発 • ニーズに合わせた最適な工法提案	• GX ZEH関連商品拡販 • サッシ取り扱い拡充 • 太陽光発電システム、蓄電池拡販	• 修繕工事需要への対応 • バリューアップ工事提案 • 「群管理」とIT活用による効率化 • 認定制度・評価制度の活用、取得推進	• 協力業者のネットワーク化 • 建物老朽化への対応 • IT活用によるローコストオペレーション • 管理物件の付加価値アップ	• 自社拠点の共同プラットフォーム化 • 車両、作業員のシェアリング • 住宅物流ノウハウの他分野への展開 • ３PL事業の横展開